

## MPE720 Ver.7.63 バージョンアップ情報

### 1. 機能追加・改善項目

#### 1.1 Ver.7.63 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.62→ Ver.7.63 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	CPU-203/CPU-203SUB に対応しました。	新規
2	MLx 関数を追加しました。	新規
3	ラダーエディタを改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合にMPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ-V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。  
操作手順については、次頁を参照ください。

## 【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

### <原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

### <対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

### 手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

#### 【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

#### 【DVD版の場合】

D:(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

D:(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

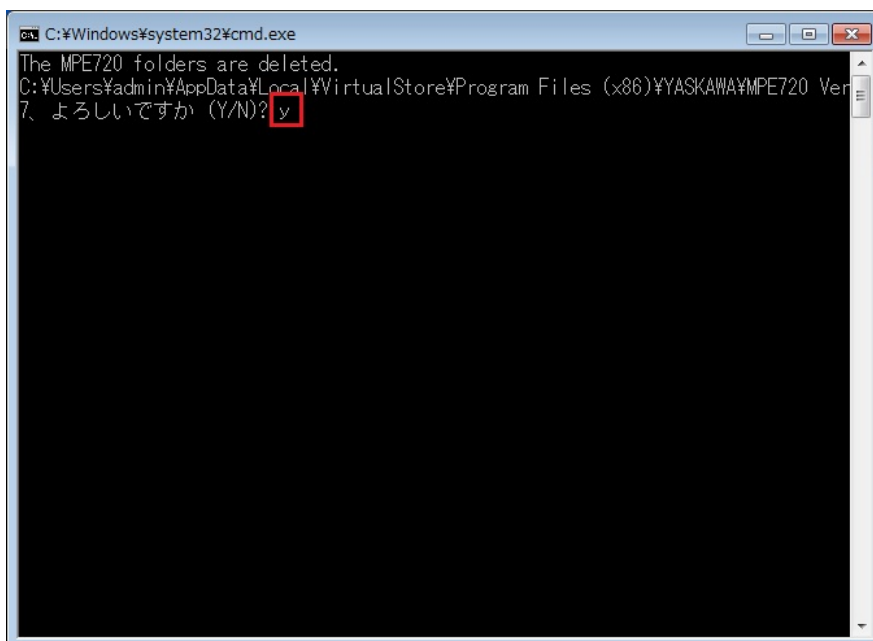
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

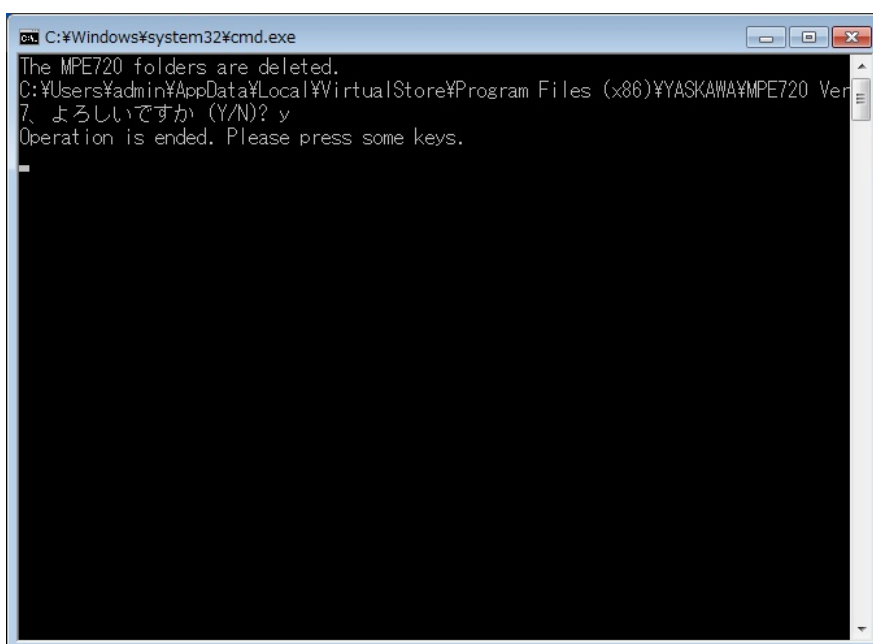
MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)



3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

## 【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

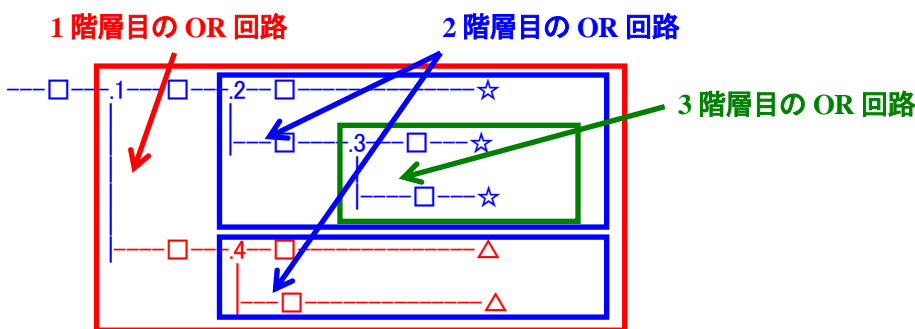
### <現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

### <対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など

※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む

☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

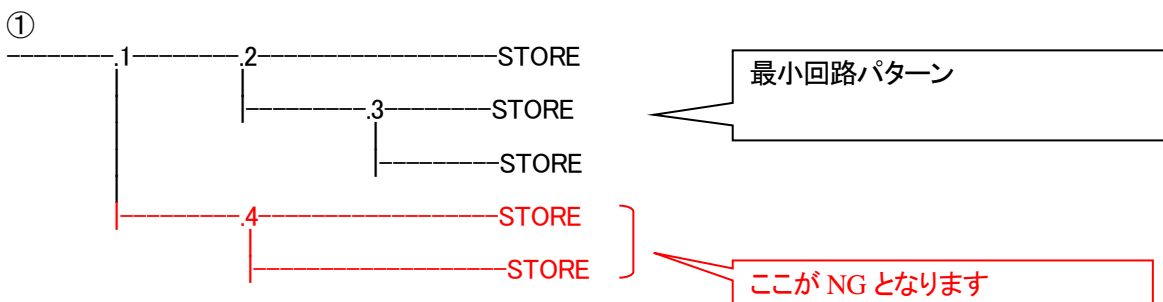
※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。

△(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

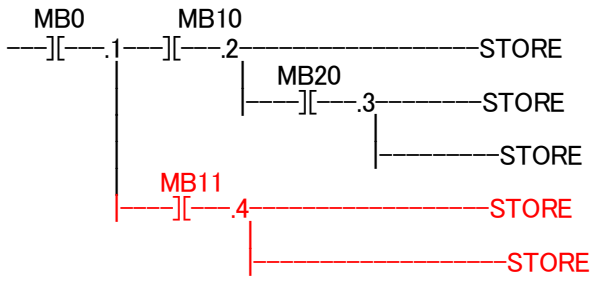
### 【現象発生パターン】

記号	命令
┌┐	A 接点
STORE	STORE 命令
( )	コイル

### 【NGパターン】



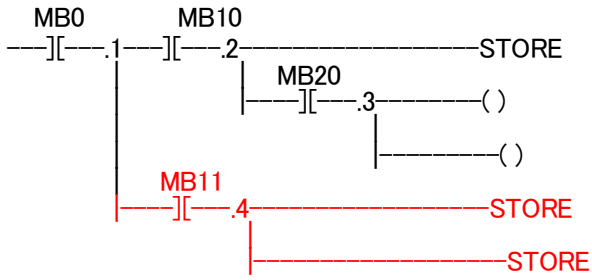
②



最小回路パターンに条件命令(A接点など)があってもNG

ここがNGとなります

③

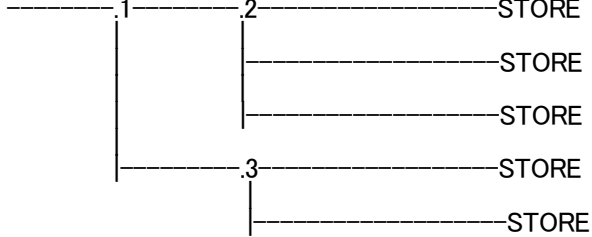


ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があるとNG

ここがNGとなります

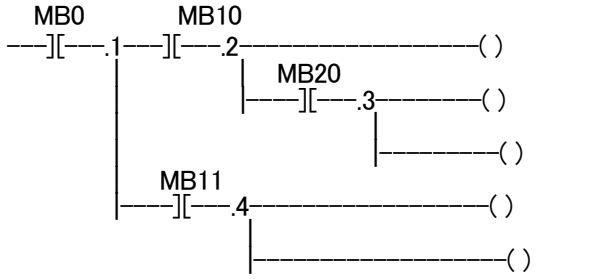
【OK パターン】

①



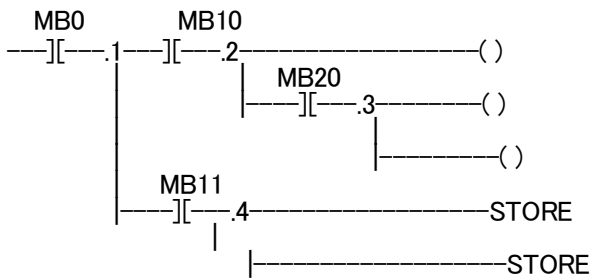
2階層のOR回路なのでOK

②



すべてコイルなのでOK

③



すべてコイルなのでOK

## 1.2 過去のバージョンアップ情報

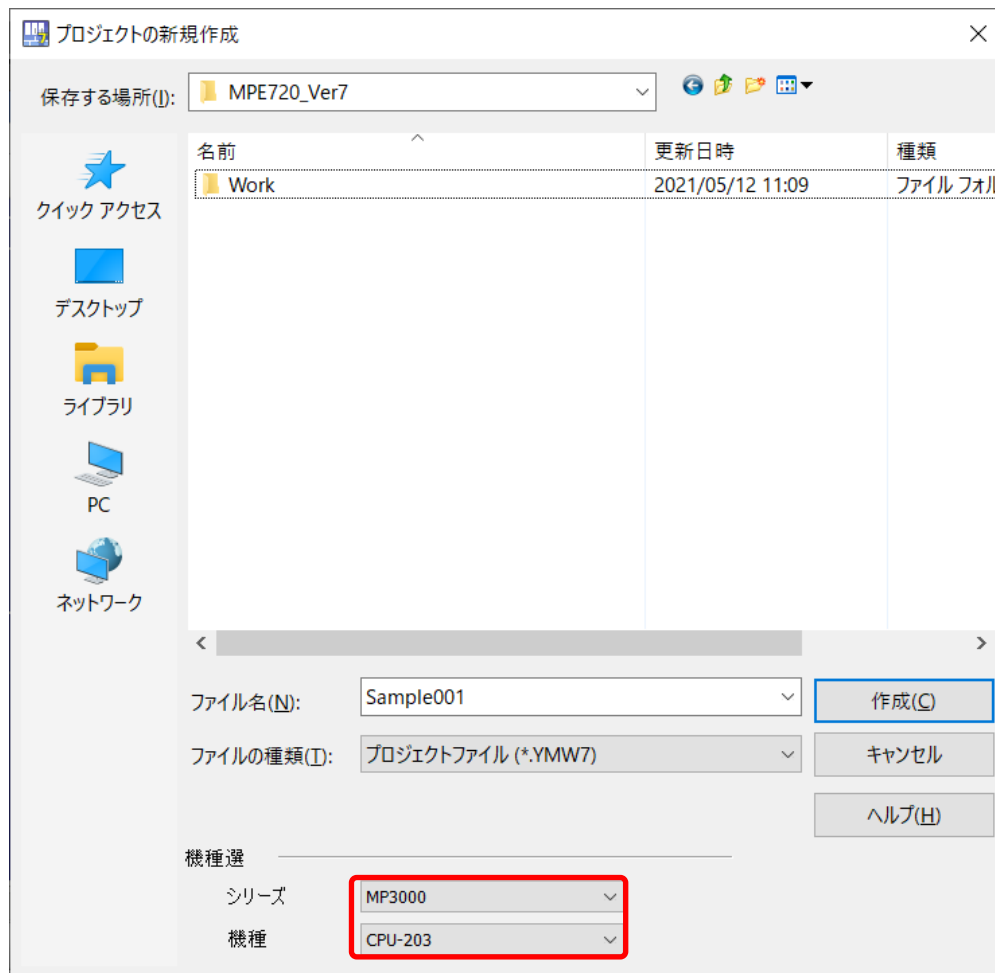
No.	バージョンアップ	備考
1	<a href="#">MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報</a>	Ver7.10→Ver7.11
2	<a href="#">MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報</a>	Ver7.11→Ver7.13
3	<a href="#">MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報</a>	Ver7.13→Ver7.14
4	<a href="#">MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報</a>	Ver7.14→Ver7.20
5	<a href="#">MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報</a>	Ver7.20→Ver7.21
6	<a href="#">MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報</a>	Ver7.21→Ver7.23
7	<a href="#">MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報</a>	Ver7.23→Ver7.24
8	<a href="#">MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報</a>	Ver7.24→Ver7.26
9	<a href="#">MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報</a>	Ver7.26→Ver7.27
10	<a href="#">MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報</a>	Ver7.27→Ver7.28
11	<a href="#">MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報</a>	Ver7.28→Ver7.29
12	<a href="#">MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報</a>	Ver7.29→Ver7.30
13	<a href="#">MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報</a>	Ver7.30→Ver7.31
14	<a href="#">MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報</a>	Ver7.31→Ver7.33
15	<a href="#">MPE720 Ver7.34 バージョンアップ情報</a>	Ver7.33→Ver7.34
16	<a href="#">MPE720 Ver7.35 バージョンアップ情報</a>	Ver7.34→Ver7.35
17	<a href="#">MPE720 Ver7.36 バージョンアップ情報</a>	Ver7.35→Ver7.36
18	<a href="#">MPE720 Ver7.37 バージョンアップ情報</a>	Ver7.36→Ver7.37
19	<a href="#">MPE720 Ver7.38 バージョンアップ情報</a>	Ver7.37→Ver7.38
20	<a href="#">MPE720 Ver7.39 バージョンアップ情報</a>	Ver7.38→Ver7.39
21	<a href="#">MPE720 Ver7.40 バージョンアップ情報</a>	Ver7.39→Ver7.40
22	<a href="#">MPE720 Ver7.41 バージョンアップ情報</a>	Ver7.40→Ver7.41
23	<a href="#">MPE720 Ver7.42 バージョンアップ情報</a>	Ver7.41→Ver7.42
24	<a href="#">MPE720 Ver7.43 バージョンアップ情報</a>	Ver7.42→Ver7.43
25	<a href="#">MPE720 Ver7.44 バージョンアップ情報</a>	Ver7.43→Ver7.44
26	<a href="#">MPE720 Ver7.45 バージョンアップ情報</a>	Ver7.44→Ver7.45
27	<a href="#">MPE720 Ver7.46 バージョンアップ情報</a>	Ver7.45→Ver7.46
28	<a href="#">MPE720 Ver7.47 バージョンアップ情報</a>	Ver7.46→Ver7.47
29	<a href="#">MPE720 Ver7.50 バージョンアップ情報</a>	Ver7.47→Ver7.50
30	<a href="#">MPE720 Ver7.51 バージョンアップ情報</a>	Ver7.50→Ver7.51
31	<a href="#">MPE720 Ver7.52 バージョンアップ情報</a>	Ver7.51→Ver7.52
32	<a href="#">MPE720 Ver7.60 バージョンアップ情報</a>	Ver7.52→Ver7.60
33	<a href="#">MPE720 Ver7.62 バージョンアップ情報</a>	Ver7.60→Ver7.62

## 2. 修正内容詳細

### No. 1 CPU-203/CPU-203SUB に対応しました。

CPU-203 および CPU-203SUB コントローラに対応しました。

1) シリーズ名”MP3000”、機種”CPU-203”(”CPU-203SUB”)を指定して、プロジェクトファイルを作成することが可能です。



2) CPU-203/CPU-203SUB コントローラに接続してエンジニアリングすることが可能です。

#### 【対応バージョン】

##### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
CPU-203/CPU-203SUB	1.54

## No. 2 MLx 関数を追加しました。

ラダー命令に以下の MLx 衝突検出関数を追加しました。

- MLxRobotSetCollisionDetectionStatus
- MLxRobotSetCollisionDetectionLevels
- MLxRobotSetCollisionDetectionDefault
- MLxRobotGetCollisionDetectionStatus
- MLxRobotGetCollisionDetectionTorque
- MLxRobotResetCollisionDetectionTorque

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	未対応です。
YRM-7 シリーズ	未対応です。
MP3000 シリーズ	1.56
Σ-7 シリーズ	1.16
MP2000 シリーズ	未対応です。



### No. 3 ラダーエディタを改善しました。

- 1) ラダー素子を Ctrl+ドラッグでコピー&ペーストすると MPE720 が落ちる現象を改善しました。
- 2) ラダー命令の入力でカンマとピリオドを同時入力すると MPE720 が落ちる現象を改善しました。
- 3) 複数ラングのコピー&ペーストでコピー先のデータがコピー元と異なる現象を改善しました。
- 4) 並列回路作成中の Shift+F5 操作で MPE720 が落ちる現象を改善しました。
- 5) 特定条件における分岐内のオフディレイ命令が正常に動作しない現象を改善しました。

#### 【対応バージョン】

##### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。